

ー2026 年度第 2 回（第 33 回）建設技術講演会ー

共催：（一財）茨城県建設技術管理センター
（公社）土木学会 関東支部 茨城会

（一財）茨城県建設技術管理センターおよび（公社）土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るための建設技術を多くの方々に知って頂きたいと、参加費は無料とし、技術者の継続学習への貢献を考え、聴講者には土木学会 CPD 単位をお渡ししております。この度は下記 2 名の講師による講演を企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加申込を頂ければと存じます。

○開催日時：2026 年 11 月 11 日（水）受付 13:00～ 講演会 13:30～16:00

○場 所：茨城県建設技術研修センター 3 階大ホール
〒310-0004 茨城県水戸市青柳町 4193

○プログラム：

13:15 開会

13:15 主催者挨拶

13:30～14:40（質疑時間を含む。）

〈講演 1〉3 次元モデリング技術を活用した那珂川大橋アーカイブスの取組

〈講 師〉石沢技術士事務所 石沢 孝 氏

〈概 要〉茨城会調査研究部会における那珂川大橋アーカイブプロジェクトの取組を紹介いたします。昭和 24 年 12 月に開通した那珂川大橋が、現在、架け替え工事が進められています。この赤く美しい 4 連のアーチ橋で、すばらしい御前山の風景を醸し出している那珂川大橋の姿を後世に残せないものか考え、このアーカイブプロジェクトに取り組んでいます。このプロジェクトは、最新の土木技術である 3 次元モデリングを活用して 3 次元モデルを作成します。また、橋の 3 次元モデルは、建設当時の設計図から BIM/CIM 技術を活用して作成し、周辺景観の 3 次元モデルは、ドローン等の空撮写真から点群を生成して作成します。
こうした、橋および周辺景観の 3 次元統合モデルを活用した那珂川大橋アーカイブの取組を紹介いたします。

14:40～14:50 休憩

14:50～16:00（質疑時間を含む。）

〈講演 2〉地上・近接センサーの最新技術動向と那珂川大橋での計測事例

〈講 師〉国際航業株式会社 今井 靖晃 氏

〈概 要〉近年、UAV（Unmanned Aerial Vehicle）や地上撮影画像を用いた近接写真測量、レーザ計測、GNSS に依存しない LiDAR SLAM（Light Detection And Ranging, Simultaneous Localization and Mapping）など、多種多様な地上・近接計測技術が登場し、インフラ維持管理をはじめとする多様な分野で活用が進んでいます。
本講演では、これら地上・近接センサーの最新技術動向を概説するとともに、令和 7 年に那珂川大橋（茨城県）にて実施した UAV 空撮および LiDAR SLAM による具体的な計測事例を紹介いたします。

16:00 閉会

○参加費：無料（事前登録制）

○特 典：希望者には土木学会 CPD 単位が発行されます（2.4 単位）

○申込方法 : 下記申し込みフォームより参加登録をお願いいたします

<URL> <https://forms.gle/GMGFSYnW2RqRrxXQ6>

<QRコード>



※定員に達し次第、申込締切とさせていただきますのでご注意ください

○申込期限 : 11月6日(金)

○連絡先 : 〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1 茨城大学日立キャンパス
土木学会関東支部事務局 担当: 曾我部
TEL / FAX: 0294-38-5160 E-mail: jsce.ibaraki@gmail.com